学校番号	306

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	情報Ⅰ　（日本文教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報Ⅰは、情報モラル、情報社会、コミュニケーション、情報デザイン、コンピュータ、プログラミング、ネットワーク、データ活用といった内容で成り立っています。特にプログラミングとデータ活用を学ぶことになったのは、情報社会では、さまざまな問題を解決するにあたってコンピュテーショナルシンキング（計算論的思考）が必要不可欠だからです。
授業では、情報に関する知識を習得することを目標とした座学とコンピュータの基礎的な技術習得はもちろん、ソフトウェアを使った発表やデータ分析の技術を身につけるための実習をバランスよく学習していきます。

2　学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育むことをめざす。
(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
(2) 様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を育む。
(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身につけているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間とのかかわりについて理解している。	事象を情報とその結びつきの観点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	情報社会と私たち	・情報社会 ・情報社会の法規と権利 ・情報技術が築く新しい社会	a:情報化が進展する社会の特質ついて説明することができる。また、情報社会と人間との関りについて考え、理解する。 b:ビッグデータの活用例や情報の特性を活用した事例と、情報の特性によって生じる事例を挙げることができる。また、SNS の活用など、不特定多数を対象としたコミュニケーションの注意点や対策方法を挙げることができる。 c:情報社会の現状についてインターネット等で調べようとしている。また、ネット依存等、情報化が個人に及ぼす影響について考え、自らの情報活用について振り返り、改善方法を出すことできる。	試験 試験 試験	プリント試験 プリント試験	ワークシート実習 ワークシート実習
	メディアと情報デザイン	・メディアコミュニケーション ・情報デザイン ・情報デザインの実践	a:メディアの特性に応じた分類、情報バリアフリー、ユニバーサルデザインの意味と目的について説明することができる。また、情報をわかりやすく伝達するため文書やプレゼンテーションソフトを活用した文字や図の表現の工夫、配色の工夫など基本的な方法を理解している。 b:情報の信ぴょう性や信頼性について吟味し、情報の真意を読み解くことができる。情報バリアフリーやユニバーサルデザインについて身近な例を挙げることができる。また、情報伝達やコミュニケーションを促進するための情報デザインの工夫について、提案することができる。 c:情報メディアや表現メディアを活用し、主体的に情報を発信することができる。また、収集する情報を批判的に思考し、読み解くことができる。	試験 試験 試験	試験実習 試験実習	ワークシート実習 ワークシート実習

2学期	システムとディジタル化	・情報システムの構成 ・情報のディジタル化	a:コンピュータの構成やソフトウェアの種類と働きについて理解し、２進数と情報量の変換や計算をすることができる。また、表計算ソフトを使って目的に応じた計算やグラフの作成を理解している。 b:コンピュータを構成する各装置の機能と相互の関係を考え、適切に接続できる。また、情報量を目的に応じて適切な単位で表現することができる。 c:コンピュータを構成する装置とその機能について興味・関心を示している。また、データ量の計算について関心を持って取り組んでいる。	試験 実習 試験 試験	試験 プリント 試験 試験	ワークシート 実習 ワークシート ワークシート
	ネットワークとセキュリティ	・情報通信ネットワーク ・情報セキュリティ	a:ネットワークの構成や情報通信の取り決め、WEB ページとメールの仕組み、通信する際の転送速度とデータ圧縮について理解している。 b:目的に沿って、LAN を構成する接続機器の接続を適切に考えることができる。ファイルデータを効率的に圧縮して転送することができる。 c:実際に使用しているネットワークの構成について自ら調べ、問題を指摘して改善策を考えることができる。インターネットのサービスや仕組みに興味・関心を持ち、個人あるいはグループで検討することができる。	試験 試験	プリント 試験 プリント 試験	ワークシート 実習 ワークシート 実習

3学期	問題解決とその方法	・問題解決 ・データの活用 ・モデル化 ・シミュレーション	a:問題を解決するためのモデル化やシミュレーションを用いた手段や順序を理解している。また、表計算ソフトを活用してデータの処理を適切にすることができる。 b:問題解決に向けて個人またはグループで解決案を検討し、制約条件の中で解決策を提案することができる。また、問題解決の目的に応じて、データ分析の手法を適切に選択し、分析結果を効果的に表現する力がある。 c:主体的に問題解決に向けてブレーンストーミングやグループディスカッション等、積極的に参画している。	試験 試験 試験 実習 試験	試験 試験 試験 実習 試験	ワークシート 実習 ワークシート 実習 ワークシート 実習
	アルゴリズムとプログラミング	・プログラミングの方法 ・プログラミングの実践	a:アルゴリズムとプログラム全般について理解し、探索や整列のプログラムを作成することができる。また、アルゴリズムの評価の意義について理解し、評価を行うことができる。 b:簡単なアルゴリズムを文章やフローチャートで表現することができる。また、プログラムの目的や実行するコンピュータによって必要なプログラム言語を適切に選択することができる。 c:アルゴリズムやフローチャート表記に興味・関心を示している。また、問題解決のためのアルゴリズムを考え、粘り強く試行錯誤しながらプログラムを作成している。	実習 試験 試験	試験 実習 試験	ワークシート 実習 ワークシート 実習

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度